

平成23年度

市教研（特別活動・学級経営部会）授業研

## 学級活動指導案

『ロング昼休みのクラス遊びでもっとなかよし』



14:00～14:45 学級活動（2棟2階—2年3組）

15:00～16:30 研究協議会（4棟1階—図書室）

千葉市立若松小学校

2年3組 担任 古賀 一生

平成23年6月21日

## 1 活動名

『ロング昼休みのクラス遊びでもっとなかよし』

## 2 活動設定の理由

### (1) 新学習指導要領より

今回の改訂では、「人間関係」づくりが要請されるようになった。だが、それは、特別活動が成立時から特質とされる本来的機能である。それを改めて確認しなければならないほど、社会に影を落とす深刻な問題になっていたのである。

現在、子どもたちは『個』が孤独の『孤』に、『集』が群衆の『衆』に」なる傾向が見られる。「人間教育とは、人間（じんかん）教育」とも言える。人と人との関係性を基盤にして、子どもたちは育ち、社会は成立している。人と人が互いに尊重し合いながら（個性化）、互いにつながり合う（連帯化）ような集団作りが今日求められている。特別活動の目標は、望ましい集団活動を通して、豊かな学校生活を築くことにある。仲間との連帯（仲間）づくりにこそ、特別活動の存在意義がある。

そして、それらにかかわる力を実践を通して高めるために、発達の段階に応じた体験活動や生活を改善する話し合い活動、異年齢集団による交流活動に重点が置かれた。中でも、話し合い活動は、学級活動「(1) 学級や学校の生活づくり」において中心となる活動である。話し合って折り合いをつけることを学ぶことは、楽しく豊かな生活づくりをするために、また、互いに尊重しよさを認め合えるような望ましい人間関係を構築していくために、もっとも重要なことであり、民主的な社会の形成者を育成することにもつながると考える。

### (2) 児童の実態・担任の願い

本学級は、男子16名、女子15名の計31名の学級である。1年生の入学当初から、皆が早く仲良くなるためにクラス遊びを実施してきている。本来外遊びが好きな子どもたちではあるが、少人数の遊びとちがって、31人学級全員が楽しめるものにするためにはそれぞれの思いが相まって、なかなかうまくいかないものである。本学級では1年生のときは教師主導でクラス遊びを行ってきた。次のステップとして2年生前期から「わかまつあそびかんがえがかり」という名前でロング昼休みのクラス遊びを考える係が発足することになった。しかし、せっかく呼びかけても集まりが悪かったり、呼びかけることなく計画倒れになってしまったりしている。係を決め、それぞれ活動をしているがこの係はまだ軌道に乗っていない。そこでわかまつあそびかんがえ係の「みんなの役に立ちたい」という思いからを設定の理由の一つとした。

互いの気持ちを考えながら、全員が楽しいと思えるクラス遊びにしていくことは、「思

いを考えながら、みんなで助け合って、出来ないことをできるようになって、明るく楽しくどこにも負けないいつでも全力のクラス」というクラス目標を掲げる本学級にとって、大変有意義な題材と考える。

また「クラス遊び」は子どもたちにとって皆が関わる日常的な内容である。そのことについて自分たちで問題に気づき、解決を目指していこうとすることは、今後の学級活動への意欲にもつながると考えている。

また、アンケートをとった結果、「学級活動は好きである」と答えた児童がほとんどであり、「学級全体の取り組みに対する達成感を味わったことがある」と答えた児童も多い。この意欲は本時の展開にいかしていきたいと考える。しかし、「自分の考えに理由をつけてわかりやすく伝える」や「友達の意見を聞いて、みんなの考えをまとめる」といった項目には半数の児童が苦手と答えている。話し合い活動におけるめあて（つけたい力）を持たせ、自分と友達の考えのよさを生かして折り合いをつけ、よりよい集団決定に向かうようにしたい。

#### 育てたい態度や能力

##### <望ましい人間関係を築く力>

○自分とは違う意見のよさを認め合いながら、みんなが納得できる話し合いをしようとする。

○相手の気持ちを考え、仲良く助け合って活動しようとする。

##### <社会参画の態度>

○話し合って決めたことに対して仲良く助け合うとともに、役割や責任を果たし、学級生活をより楽しいものにしようとする。

##### <自治的能力>

○話し合い活動に積極的に参加したり、話し合って決めたことを守って活動したりして、学級の諸問題を自分たちの力で解決することができる。

#### これまでの話し合い活動の議題と話し合いの柱

第1回	おわかれかいをしよう 会のないようをきめよう
第2回	学びゅう目ひようをきめよう どんなクラスにしたいかをかんがえよう
第3回	学びゅうのかかりをつくってきめよう どんなかかりがあるといいかをかんがえよう
第4回	もえろうんどう会！うちわで気合い大きくせん ことしのうんどう会でがんばりたいことをかんがえよう

第5回	たん生日会をしよう 会のないようをきめよう
第6回	そうじをレベルアップ きれいにならないわけをかんがえよう そうじがレベルアップするほうほうをかんがえよう
第7回	かかりかつどうをパワーアップ かかりかつどうをみなおし、とりいれたらうれしいことをかんがえよう

### 3 研究仮説との関わり

部会の研究主題・研究仮説は以下のとおりである。

#### 研究主題

「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」  
～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する  
指導の在り方及び学級集団をめぐる今日的な課題への対応～

#### 研究仮説

- (1) 学級活動などの集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。
- (2) 学級経営を推進する上で生じる諸問題について、その原因を把握し、効果的な方法によって、適切に対応できれば、児童生徒の理解が得られ、円滑な学級経営が営まれ、集団活動が一層活発になるであろう。

学級活動については、1年生の後期から、輪番制でグループの司会を段階別司会用マニュアルを活用しながら経験し、話合いや集会活動を進めてきた。司会として活動することを楽しみにしている児童もいる。司会進行の仕方はまだ未熟ながらも司会マニュアルを見ながら頑張っているので、児童の自主的な活動を支援していきたい。

話合い活動では、自分に自信の持てない児童や自分の意見を持てない児童など受動的に話し合いに参加する傾向がみられる。また、めあてに沿っているか等よく考えずに、思い付きで発言する様子も見られる。そして、クラスのことを話し合う学級会において一部の児童だけで話が進んでしまうのは本学級の課題である。

そこで以下の手立てを考えた。

<具体的な手立て>

#### ①学級会ノート

- ・事前に議題を知らせておき、自分の考えを具体的に書かせておく。そのことにより、自分の思いや願いをもって話合いに参加しようとする気持ちを高めることができる。
- ・教師が事前に目を通し、一言コメントを入れておくことにより、自信をもって話合い

活動に参加でき、みんなの前で発言することができる。

- ・学級会ノートの「振り返り」を活用し、自分のめあてや話し合いを振り返り、「聞く・話す」ことの基本を意識することができる。
- ・学級会ノートに振り返りを書かせたり、友達の良いところを振り返らせたりして、よかったところを全体の前で認めていくことにより、お互いのよさを認める望ましい人間関係を作る。

## ②ペア→グループ→全体と話し合いの形態

- ・大勢の前で自分の考えを発表できない児童にとっても、安心して話ができるようにしたい。そこでまずはペアでの話し合いをする。隣の席に座っている児童と自分の考えを発表する、また友達の考えをうなずきながらしっかり聞くことで、互いの意見を認め合うことを経験させる。
- ・がんばって発表できた場面や相手の意見を認め拍手などでできた児童を見逃さず、全体の前で認めていくことにより、お互いのよさを認める望ましい人間関係を作る。
- ・次にグループの中で話し合わせることで話し合いの司会、発表、書記の役割をそれぞれが体験し、学級の話し合い活動に主体的に参加したという学級への帰属感を味わわせたい。
- ・グループで話し合ったことを書記係がホワイトボードにまとめ、発表係が全体の前で発表する。グループで話し合ったことを発表するので、自分の意見を全体の前で言えない児童も、自分の意見をグループで取り入れてもらったり、発表係で発表する機会を得たりするので、達成感が味わうことができると考える。そうすることで、今後発表することへの自信につなげることができる。

## ③学級会グッズ（グループでの話し合い用）

- ・児童一人一人が意欲的に、かつ円滑に話し合い活動をグループで行うために「学級会グッズ」を活用する。話し合いの際に毎回用いることで、児童一人一人が一連の流れとして話し合い活動を把握し、進められるようにする。

ア. 司会者用腕章

イ. 司会マニュアル

ウ. 発言者用マイク

エ. 全体発表のための書記用ボード・ペン

## ④学級会コーナー

- ・事前に、話し合う内容や自分の役割分担などを学級会コーナーに掲示することにより、自分の思いや願いをもって話し合いに参加しようとする気持ちを高めることができる。
- ・「こえのものさし」「聞き方・話し方あいうえお」「発言の仕方」の掲示を活用し、「聞く・話す」ことの基本を意識させることにより、話し合いの時のルールを確認することができる。

- ・これまでに学級会で話し合わせ、活動したことを掲示しておくことで学級会への関心・意欲を高める。

#### 4 指導の過程

##### (1) 指導計画

月日	活動の時間	活動の主体	活動の内容
6月 6日	昼休み	司会	議題を決める
6月 7日	帰りの会	全員	議題名・提案理由を発表し、全員で議題を確認する。
6月 8日	昼休み	司会 提案者	話し合うことを決める。活動計画を立てる。 (話し合いのめあて・役割分担・気をつけることなど)
6月10日	帰りの会	全員	活動計画を全員に知らせる。学級会ノートに、休み時間にみんなでしたい遊びを訳も考えて記入する。
6月15日	昼休み	司会	全員の学級会ノートに目を通し、話し合いの見通しを持つ。役割や話し合いの進め方について確認する。
6月17日	帰りの会	全員	議題・提案理由・めあて・自分の考えについて学級会ノートを見て確認する。
<b>6月21日</b>	<b>学活</b>	<b>全員</b>	<b>ロング昼休みのクラス遊びでもっとなかよし(本時)</b>
6月29日	ロング休み	全員	クラス遊びを行う。

##### (2) 本時の学習(学活)

###### ①目標

- ・クラス遊びについて、お互いのよさを認め合いながら、進んで話し合い活動ができるようにする。

###### ②展開

学習活動と内容	指導上の留意点(☆具体的な手立て)	資料・用具
1. 話し合いまで ・はじめの言葉 ・役割の紹介 ・議題の確認 ・提案理由の確認 ・話し合いのめあての確認	○全体の司会グループ(司会1名、副司会1名、黒板記録1名、ワークシート記録1名)は前に出て活動する。 ○自信をもってはっきりとした声で話すことができるように事前に司会グループへの励ましをしておく。 ○紹介後はみんなで拍手をし、意欲を喚起する。 ○提案理由やめあては事前に内容を吟味し、わかりやすく伝えられるようにする。	掲示物 ・議題 ・提案理由 ・めあて

ロング昼休みのクラス遊びでもっとなかよしになろう		
<p>・ 先生の話</p> <p>2. 話合い</p> <p>はしら 1</p> <p>・ これからどんな遊びをするか決めよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①ペアで</p> <p>②グループで 役割分担しながら</p> <p>③全体で</p> </div> <p>はしら 2</p> <p>・ みんなが楽しくなるために気をつけることを考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①ペアで</p> <p>②グループで 役割分担しながら</p> <p>③全体で</p> </div> <p>3. 話合い後</p> <p>・ 決まったことの発表</p> <p>・ 振り返り</p> <p>・ 感想発表</p> <p>・ 先生の話</p> <p>・ 終わりの言葉</p>	<p>○提案理由やめあてを確認しながら、全員が発言するように助言する。</p> <p>☆「聞き方話し方あいいうえお」「発言の仕方」「こえのものさし」を活用し、「聞く・話す」ことの基本を意識させることにより、話し合いのルールを確認する。</p> <p>☆自分の意見と理由が書かれた学級会ノートを準備し、自信をもって発表できるようにする。</p> <p>☆学級会グッズを活用し、児童一人一人が発言し、話合いを円滑に進められるようにする。</p> <p>☆ペア→グループで話合いを行い、自分の意見を言えるようにしたり、友達の意見をよく聞いたりして、互いの意見を認め合うようにする。</p> <p>○時間配分を考えて進行するように全体司会に助言する。</p> <p>○賛成意見、反対意見を根拠をつけて話し合うように助言する。</p> <p>○記録がみんなの意見のわかりやすく記録するように助言する。</p> <p>○黒板記録がみんなに聞こえるはっきりした声で発表できるよう励ます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;予想される遊び&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ だるまさんがころんだ など</li> <li>・ どろけい・おにごっこ・ドッジボール</li> </ul> </div> <p>○めあてや自他の取り組みについて学級会ノートで振り返るよう助言する。</p> <p>○めあてに沿った発言例を取り上げ、次回への意欲づけとなるように称賛する。</p> <p>○自分の意見と比べて、友達の意見のよさを認められた児童を称賛し、お互いのことを認められるようにする。</p> <p>○これからみんなで遊ぶことに期待を持たせる。</p> <p>○今後の活動についても言及させる。</p>	<p>学級会ノート</p> <p>学級会グッズ</p>

アンケート①

\*だれとでもなかよくあそんだりはなしたりできますか。

はい                      いいえ

\*クラスぜんいで「やったあ」という気持ちをもてたことがありますか。

はい                      いいえ

\*話合い（学きゅう活どう）は好きですか？

はい                      いいえ

\*じぶんのかんがえをすすんではっぴょうしていますか？

はい                      いいえ

\*ともだちのいけんをしっかりきいていますか？

はい                      いいえ

\*じぶんやクラスの生活の中でぎだいを見つけることができますか？

はい                      いいえ

\*じぶんのかんがえを、りゅうをつけてわかりやすくつたえることができますか？

はい                      いいえ

\*ともだちのいけんをきいて、みんなのかんがえをまとめ、はっぴょうができますか？

はい                      いいえ



アンケート②

\*クラスあそびはたのしいですか？

はい                      ふつう                      いいえ

\*クラスあそびはあったほうがいいですか？

はい                      いいえ

\*クラスあそびについてもっとこうしたらいいと思うことはありますか？

はい                      いいえ

\*それはどんなことですか？